

平成30年度授業改善推進プラン

教科 [技術] 科

学習状況の実態・調査結果等を踏まえた内容別・観点別分析表

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ・教科への関心・学習意欲は高く、授業に積極的に取り組んでいる。 ・実習の作業に対して関心や意欲が高い安全に配慮する意識も高い。 ・作用について速さを重視して作品が粗雑になる生徒も中にはいる。 ・作品の完成予想図を考えながら作業に取り組めないために自分の作業が分からず動けない生徒がいる。 ・基本的な知識を実生活で活かせるようにすることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科への関心・学習意欲は高く、授業に積極的に取り組んでいる。 ・実習の作業に対して関心や意欲が高い、安全に配慮する意識も高い。 ・授業での発言が少なくなっている。 ・授業を通して身につけた知識や技術が、実際の生活で役立てているかといえば、十分とはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科への関心・学習意欲は高く、授業に積極的に取り組んでいる。 ・実習の作業に対して関心や意欲が高い、安全に配慮する意識も高い。 ・授業での発言が少なくなっている ・作業課題に対して意欲的に制作されている。また、提出物などほぼ提出されている。



指導方法の課題分析と具体的な授業改善及び補充指導の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
一年	<ul style="list-style-type: none"> ・作図などの学習を苦手とする傾向があるため完成図を思い描けないようである。 ・学んだ基礎的な知識や技術を実習に活用し、作業を丁寧に行うよう指導していく必要がある。 ・小学校の図工授業との違いについて気付かせ、目的に適した工具の選択や使用について学習させる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習での作業目標・内容を伝え、作業がうまく進められない生徒には個別に指導を行う。 ・学習形態を工夫し、協力・教え合う態度を育てる。 ・作業の進度に違いが出ないように製作進度を調整する。丁寧な作業の重要性を伝える機会を設ける。 ・仕事の楽しさや完成の喜びが味わえるよう製作段階でつまづく生徒に対して、ワークシートの活用や補修による個別指導を指導計画に組み込む。 ・ICT機器の活用し視覚的な理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の振り返りのレポートの提出を習慣づける。 ・生徒全員が達成感を得られるような作品になるよう、仕上げまでアドバイスする。 ・提出物チェックを行い、ものづくりの実技テストも実施する。
二年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解していても、それを応用して実習課題を解決する創造力は不足している。 ・授業だけではなく、それに関連する知識も身につけることが実習に必要である。 ・授業への関心・意欲は高いが、自分の意見を他の生徒の前で発表することが少なくなってきた傾向がある。 ・小学校での経験からPCの基本的な使い方などはできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では個別に、全員が全ての作業工程に携われるようにする。一人一人の技術の向上を図る。 ・実習の授業とともに、その内容を振り返る授業も組み合わせて行う。 ・基礎基本の定着を図るために、個別対応を心掛ける。 ・積極的に発言する、自分の考えを表現・発表する姿勢・環境を作る。 ・仕事の楽しさや完成の喜びが味わえるよう製作段階でつまづく生徒に対して、ワークシートの活用や補修による個別指導を指導計画に組み込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の振り返りのレポートの提出を習慣づける。毎時、提出物のチェックを行う ・コンピューター室を活用し興味、関心が芽生えるような動機付けを行う。 ・PC・エネルギー変換等の実技テストを実施する。
三年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解していても、実習の制作作業に活かされていないのが現状である。 ・実習や授業の内容を理解していても、実生活に活かされていないのが現状である。 ・PCの基本的な使い方などはできている。しかし、考えて応用する操作には個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に関わりのある教材を提示し、家庭での実践意欲を持たせる。 ・学習に集中できるような教材の工夫をする。 ・仕事の楽しさや完成の喜びが味わえるよう製作段階でつまづく生徒に対して、ワークシートの活用や補修による個別指導を指導計画に組み込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の振り返りのレポートの提出を習慣づける。毎時、提出物のチェックを行う ・生徒全員が達成感を得られるような作品になるよう、仕上げまでアドバイスする。 ・PC等の実技テストを実施する。